

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 事業所番号 | 4670300658 |
| 法人名 | 医療法人 昌成会 |
| 事業所名 | グループホーム 和音 |
| 訪問調査日 | 平成20年2月26日 |
| 評価確定日 | 平成20年3月21日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島 |

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 4670300658 |
| 法人名 | 医療法人 昌成会 |
| 事業所名 | グループホーム 和音 |
| 所在地 | 鹿屋市大浦町14169番17号 (電話) 0994-41-3777 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島 |
| 所在地 | 鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号 |
| 訪問調査日 | 平成20年2月26日 |

【情報提供票より】(平成20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 15年2月20日 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人 |
| 職員数 | 28 人 常勤 5人, 非常勤 23人, 常勤換算 15.4人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-----|
| 建物構造 | 木造平屋造り | | |
| | 1 階建ての | 1 階 ~ | 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------------|----------------|---------|
| 家賃(平均月額) | 23,286 円 | その他の経費(月額) | 9,980 円 |
| 敷金 | 有(円) | (無) | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 900 円 | | |

(4) 利用者の概要(2月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 4 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 6 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 3 名 | | |
| 年齢 | 平均 83.8 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 93 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 小倉記念病院 瀬口整形外科 瀬口歯科 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ふるさとの山、つがひら岳の麓、豊かな自然に恵まれて穏やかな暮らしが営まれているホームである。近隣で収穫できる四季折々の食材を使って、慣れ親しんだ味覚を味わうことができる。医療法人の開設であり、母体の医療機関による健康管理や必要な専門医の紹介、さらにはホームに看護師を配置するなど、医療面における支援体制が整っている。町内会に加入しており、行事を通しての地元との交流に加え、町内会役員による運営推進会議等への熱心な協力など、地域に支えられながら開かれた運営に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 行政との関わりについては、運営推進会議に市の担当者と地域包括支援センターから交互に出席してもらっており、意見交換を通して連携に努めている。地域包括支援センターには、質問や相談、状況報告等も行っており、さらに介護支援専門員のネットワーク作りを通して連携を深めている。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価はサービスの現状を把握する好機ととらえ、職員全員で取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 早い時期から定期的に会議が開催されており、ご家族をはじめ町内会長や民生委員、行政関係者も熱心に対応していただいている。会議ではホームの活動や運営状況が報告され、意見や質問に対しては傾聴し詳細に説明するなどして、サービスの質向上に活かせるように取り組んでいる。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 意見箱の設置に加え、運営推進会議へのご家族の参加や、年二回の家族会開催などにより、より多くの意見や要望を聞けるように工夫している。また、苦情申し立ての窓口として、地元の町内会長や民生委員に協力していただいている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会に加入しており、地域の行事に参加・協力したり、児童・生徒の職場体験学習を受け入れるなど、地元との交流に努めている。さらに、ホームの施設や人材の活用についても協力を申し出ている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域の中で、その人らしい生活を継続するための支援を、ホーム独自の理念として作り上げている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 入職時には理念について説明し、朝礼やミーティング、毎月の部署会の中で、理念に基づいた具体的なケアについて話し合い、日々のケアに取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入しており、地域の行事に参加・協力したり、児童・生徒の職場体験学習を受け入れるなど、地元との交流に努めている。さらに、ホームの施設や人材の活用についても協力を申し出ている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価はサービスの現状を把握する好機ととらえ、職員全員で取り組んでいる。また外部評価の指摘課題については、改善に向けて迅速な取り組みを行っている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 早い時期から定期的に会議が開催されており、ご家族をはじめ町内会長や民生委員、行政関係者も熱心に対応していただいている。会議ではホームの活動や運営状況が報告され、意見や質問に対しては傾聴し詳細に説明するなどして、サービスの質向上に活かせるように取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域包括支援センターや市の担当者へ質問や相談をしたり、ホームの状況報告を行うなどして交流を図っている。また、介護支援専門員のネットワーク作りや、ケアマネジメントに関する会合も計画されている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 「和音たより」にて、ホームの状況や行事のお知らせを行い、「エブロンたより」では、入居者の暮らしぶりや心身の状態報告を行っている。また、「たより」と一緒に、預かり金の使用明細と領収書を送り、定期的に報告している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱の設置に加え、運営推進会議へのご家族の参加や、年二回の家族会開催などにより、より多くの意見や要望を聞けるように工夫している。また、苦情申し立ての窓口として、地元の町内会長や民生委員に協力していただいている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ユニット間での職員異動はあるが、日々の交流は続けている。新しい職員が採用された場合には、入居者が馴染むまで管理者と共にケアを行うなど、ケアの継続性を確保するように取り組んでいる。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月のミーティングの中で、ホームとしての研修を行っており、法人で行われる研修には全員参加している。また、外部の研修を受けた職員は、ホーム内で報告会を行い共有に努めている。研修内容によって、受講する職員を決めているが、それぞれの段階に応じて育成するための計画的な取り組みは十分とは言い難い。 | ○ | 職員の経験や役割に応じて、学びの機会が確保できるように研修計画を作成し、さらなる資質の向上に向けて取り組んでいただきたい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域包括支援センター主催のセミナーや研修会に参加し、同業者との交流を持つことにより、サービスの質の向上に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 短期利用を経験してからの入居もあるが、直接入居することになった場合は、ご家族のこまめな訪問や、帰宅を希望される際には職員が同伴して帰宅するなどして、安心感を持ってもらえるような支援を行っている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者の経験や知識を会話や日常生活の中から発見し、生活の知恵を教えてもらう機会を多く作り、感謝の言葉を忘れないように努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご家族や身近な方からの情報を得ると共に、居室訪問や散歩の同行を行いながら、思いや意向を表出しやすい雰囲気づくりに努め、行動や言葉から思いをくみ取るようにして、日々の関わりの中でケアに反映できるよう取り組んでいる。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人やご家族から思いや意見を聴取し、カンファレンスを開いて職員からの意見を含めて、介護計画の作成を行っている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ご家族に会議出席を依頼したり、出席できない場合は電話で要望を聴取し、それらを取り入れながら、状態の変化時や定期的な介護計画の検討と見直しを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 空室を利用して、短期利用を受け入れている。また、母体医療機関等との連携や看護師の配置により、医療面の支援を行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的にはご家族同行の受診となっているが、不可能な場合は職員が同行するなど、柔軟な対応を行っている。また、受診の際は、介護経過の情報を医療機関へ提供し共有を図っている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合における対応に関する指針を作成しており、ご家族やかかりつけ医等を含めて共有を図っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりの誇りや尊厳、プライバシーに配慮した言葉遣いや対応を心がけている。個人情報の取り扱いも含めて、さらに職員の意識向上を図り、徹底した対応ができるように取り組んでいる。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームの都合によらず、入居者のこれまでの生活リズムを尊重し、一人ひとりの状態や希望に合わせて起床や食事が出来るように、柔軟な対応がなされている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立を作る際は、入居者の希望を聞き、季節の食材を取り入れながら作成している。また、入居者の誕生日には、その方の好みのメニューにしてお祝いしている。盛り付けや準備は入居者と一緒に行いながら、穏やかな雰囲気の中で、食事が楽しめるように支援している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は週三回と決まっているが、季節により、また入居者の状態や希望に応じて、いつでも入浴できるようになっている。入浴時間や個別浴についても、入居者の要望を取り入れて柔軟な対応が図られている。 | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | おしぼりの準備・台拭き・調理・後片付けなど、一人ひとりの力量に合わせた家事が行えるよう支援しており、ご家族からの情報をもとに、工作や歌など、趣味を取り入れた楽しみごとの支援を行っている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常の買い物は職員と一緒にっており、季節の行事については、年間計画を立てて、なるべく多く戸外へ出る機会を設けている。また、入居者の希望があれば、墓参りやドライブ等にも出かけている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は施錠していないが、入居者の状態や時間帯によっては、周りの環境を考慮して危険回避のために施錠することがある。その際は、ご家族に了解を得るようにしている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年二回の防災訓練を、消防団や近隣住民の協力を得て行っている。通報・連絡・消火器の取り扱いなど、具体的な訓練を実施している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 検温記録に食事の摂取量が記載されており、アレルギーや好みに対する情報も含めて、職員が共有できるようにしている。また、必要に応じて、水分摂取量もチェックし記録に残している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| 木 | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ダイニングにはテーブルやソファが置かれ、ゆったりとした空間が広がっている。ホーム周辺に咲いた花々を飾るなど、季節を感じながら居心地よく過ごせるように配慮されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 植木鉢や位牌など、自宅で使っていた馴染みの物を持ってきていただき、好みの壁飾りをするなど、思い思いの居室空間が作れるように配慮している。 | | |